

保育園、学校での給食について

【ご意見】

3人の子どもを育てる母です。

この3年間、感染対策感染対策と言われながら集団生活を行ってきた子どもたちですが、年長や中学、高校3年生はそれぞれの生活丸々、感染対策を余儀なくされてきました。

毎日マスク着用と黙食、行事の縮小や中止など、制限が多い中で生活し、そのまま保育園、学校生活を終えようとしています。

国の方針として、黙食ではなく静食となったようですが、保育園や学校など教室の大きさは変わらないため、未だ黙食をしているように感じています。

もちろん、食べることに集中するための食育は幼少期には必要なこととは思いますが、それはこの3年間嫌になる程やってきている子どもたちだと思います。

残りわずかな保育園、学校生活では“楽しく食べる”食育をして欲しいと強く願います。市の方からも黙食についての指導をお願いします。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答：保育課・教育総務課】

公立保育園では厚生労働省が作成した「保育所における感染症対策ガイドライン」に基づき感染対策を行っております。給食の時間は飛沫感染の生じやすい場面でもあるため、窓を開け十分な換気をし、園児同士が向かい合わせにならないようにするなど、友達と安全に楽しく食べられるよう感染防止対策を行っております。

一律に黙食の指導は行っておりませんが、新型コロナウイルス感染症が爆発的に広がっている中、園児の健康と安全な

園生活を守るため、流行の状況によっては、必要以上の会話は控えるなど静かに食事を取ることにについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、市内小中学校における給食中の感染予防対策については、文部科学省が作成した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を基本に進めてきました。このマニュアルの中で、「会食に当たっては、飛沫を飛ばさないよう、机を向かい合わせにしない、大声での会話を控えるなどの対応が必要」との指導があり、これに基づいた対応をした結果、「黙食」となっていることをご理解いただけると幸いに存じます。（給食中のルールとして「黙食」があるわけではありません）

11月末に政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更され、その中で「黙食」の文言が削除されましたが、現在、第8波をむかえ、学校現場でも感染者の増加が見られます。その中には、児童生徒の座席が近いことによって感染が拡大したと思われるケースが出ているのが現実です。

つきましては、現在の指導をすぐに変えることは難しいですが、ご指摘のとおり、給食の時間は「食育」として、児童生徒同士の楽しい時間であってほしいと考えます。各学校では、児童会・生徒会が中心となり、テレビ放送・校内放送等を活用し、少しでも楽しい時間となるよう工夫をしています。

市及び市教育委員会としましては、園児・児童生徒の想いを大切に、引き続きコロナ禍でも可能な限り楽しい給食の時間となるよう、各園・各学校へ指導をしてまいります。